



政和クラブ
石川 義治 議員

すべての駅に 防犯カメラの設置を

来年度、設置できるよう検討する

「武豊町まち・ひと・しごと
創生総合戦略」を公表

問 具体的施策として示された34事業は、どのように選定されたのか。

答 企画部長 役場職員から実現したい施策について、アイデアを募集し、町幹部で、総合計画との事業の実現性を勘案し、5年間で達成可能な施策と判断したものを「たけとよみらい会議」で審議・検討し、取りまとめた。

問 今後は具体的施策の選定と目標の設定は、どのように進めていくのか。

答 企画部長 今回は、総合戦略を10月までに策定する必要があった。

今後は、「たけとよみらい会議」の委員ならびに議員から事業の提案をいただきたい。

問 総合戦略の目標を実現

するために、実行予算はどのように考えているのか。

答 企画部長 今年度は、国からの補助金が全額いただけた。

次年度以降は、不透明であり、全額町の負担になったとしても実施するかどうかの判断が必要となる。

犯罪を抑止する上で、 防犯カメラ設置が必要

問 本年度、名鉄知多武豊駅に防犯カメラの設置を予定しているが、名鉄富貴駅・上ヶ駅、JR武豊駅にも防犯カメラを早急に設置していただきたいが見解は。

答 総務部長 来年度に、3駅に設置できるよう検討する。

問 防犯カメラを設置しようとする自治会や商店街などに補助を行っている自治体も多く見受けられるが、このような支援事業に対する見解は。

答 総務部長 区および商工会などが設置する防犯カメラに対し、設置支援ができるような制度を検討する。

問 家庭の玄関灯や門灯を点灯させ、まちを少し明るくすることで、地域全体で

防犯に努める「二戸一灯運動」を武豊町でも、推進していただきたいが見解は。

答 総務部長 町民に周知を図り、理解を得ながら推進できる方策を検討する。



■名鉄知多武豊駅の防犯カメラ



きずな
石原 壽朗 議員

ワクチン接種補助の 拡大を

先進事例の効果を検証していく

高齢化社会になり、医療や介護などを考慮した生活環境づくりが急務である。一方、医療費の適正化を図ることも必至である。

データヘルス計画を策定

問 普及を始めた電子レセプト（医療費の電子明細書）は、全国共通基準であり、外来や調剤などの情報を解析できる。これを地域医療計画に積極的に活用すべきではないか。

答 町長 日本看護協会の支援を受けて、今年度中に特定健康診査や電子レセプトのデータ分析を行い、重症化予防指導対象者への保健指導をする「データヘルス計画」を策定していく。

ワクチン接種に補助を

問 インフルエンザにより、毎年多くの学級閉鎖が発生している。家庭内で感染し、職場に蔓延する可能性もある。

現在、高齢者へのワクチン接種補助制度はあるが、15歳以下の子どもにも補助ができないか。

答 健康福祉部長 県内では、3市1村で補助制度があるが、本町ではインフルエンザ発症後の治療費の推計もできていない。今後、調査・研究していきたい。

問 生活保護世帯や母子・父子家庭など、対象世帯を限定してワクチン接種補助をできないか。

答 町長 全世帯となれば費用面で難しいが、弱者への支援は必要である。

すでに補助制度を導入している先進地での効果の内容を確認し、有効であれば導入に向け検討していく。

「町医」の採用を

問 母子健診や園児・児童健診など、全体で2千万円を超える健診費用となっている。武豊町が独自に「町医」を採用し、健診業務を専任で行えないか。

答 健康福祉部長 乳幼児健診のように特に専門性が高いものもあれば、一度に大勢の医師の協力を得て健診をしているものもあり、物理的に専任医師は難しい。

健康ポイント制度を導入

問 町民が健康で医者にかからないことが負担軽減につながるため、健康意識を変える起爆剤的な事業が必要ではないか。

答 町長 健康を保持・増進していくことが重要である。健康ポイント制度の早期導入を進めていく。



■保健センターでの健診風景



公明党武豊議員団
富永 良一 議員

知多武豊駅東の 活性化は

土地の共同利用を検討したい

**中心市街地の活性化を
どう進めていくのか**

問 区画整理後は、どのような事業を予定しているか。

答 **町長** 土地を共同して利用する方法で、例えば「まちづくり会社」を設立して、実施していくことが可能か検討している。

問 商店街活性性の中心となる条件が3点ある。

「歩ける（散歩）・座れる（飲食・休憩）・夜遅い（勤め帰りの買物や食事）」参考にしてはどうか。

答 **建設部長** 「歩ける・座れる・夜遅い」の3点を参考に、商店街組織などの方々と話し合い、検討していく。

問 武豊港線の拡幅工事がなされるが、JR武豊駅南側の丁字交差点の一方通行解除と、名鉄武豊駅北側のY字路の改良をあわせて実施されるのか。

答 **建設部長** JR武豊駅南側丁字路の一方通行解除は、交差点の改良を県に要望中である。

名鉄武豊駅北側のY字路改良は、区画整理事業の進捗にあわせて優先して整備したい。

健康づくり応援カード （マイレージカード）について

問 マイレージカードは、健康づくりメニューに参加した人に、ポイントを付与し、物品などと交換が出来る制度である。

憩いのサロン参加者や、町主催の健康づくり活動に参加した人にも、ポイント付与を検討しているか。

答 **健康福祉部長** 憩いのサロン事業も、健康づくり活動のひとつであるため、参加者やボランティアの活動にも、ポイント付与を考えている。健康課と福祉課で検討していく。

問 自己負担・自己努力で健康づくりに励んでいる方が、一年間、国民健康保険証を使用しなかった場合に、特典をつけてはどうか。

答 **健康福祉部長** 現在、そのような制度はないが、自己負担・自己努力している方も、このマイレージカード

に参加いただき、健康行動をポイントに換えることで、特典を受け取っていただきたい。

一年間、健康に過ごされ、保険証を使用しなかった方には、特別ポイントを付与できるように検討したいと考えている。



■ 拡幅されるみゆき通り



武豊クラブ
福本 貴久 議員

保育園の民間移管への検討を

北中根保育園の移管状況から判断

武豊クラブは、「住んでみたい住んでよかった武豊町」を目指し、第5次総合計画後期戦略プランをベースに、41項目に渡り、粗山町長に「平成28年度武豊クラブ予算要望書」を提出した。町民が安全で安心して生活ができ、福祉・住環境・教育が決して低下することのないよう創意工夫をお願いする。



公共施設内のAED

屋外設置を増やして欲しい

問 AEDを屋外への設置促進を。

答 総務部長 公共施設のAEDは、屋内に設置されており、閉まっている早朝・夜間・休日には使用できない。

い。今後、可能な施設から、屋外設置について調査・研究していく。

読まれるための心がけは

問 町民にわかりやすく、また親しまれる町広報誌の研究を。

答 企画部長 紙面の構成や文章の表現方法、イラストなどを工夫し、わかりやすく、親しみのある広報誌の作成に、心がけている。



建て替えられた中山保育園

民間移管の進め方は

問 保育園の民間移管ならびに幼稚園設置の検討を。

答 健康福祉部長 北中根保育園は、民設民営での建て替えを検討している。今後は、北中根保育園の移管状況を見極め、子どもの人口や保護者のニーズなどを踏まえ、検討していく。

里中地域の発展を

問 まちの駅、地域交流施設の活用の推進を。

答 生活経済部長 味噌蔵や転車台に近接する立地特性を活かし、産業・観光の拠点施設として、また、地域の交流の場となるスポーツやリクレーションなどに役立つ施設として整備を行っている。また、施設の存在や醸造文化に関する情報を積極的に発信し、地域の賑わいづくりに努めていく。

赤字を解消するには

問 水道事業の経営の安定化を。

答 建設部長 これまでも民間委託などにより、積極的に業務改善に取り組んできた。今後も出来ることから健全経営に向けた取り組みを継続していきたい。

利用しやすい使用料を

問 総合体育館の季節に即した冷暖房の使用を。

答 教育部長 知多地域の施設と比べ、1時間8000円は、低い料金設定となっている。

今年度、施設間格差の解消を図る上で、使用料など検討委員会を立ち上げ、町内の公共施設の使用料金の見直し作業を行っている。